

令和 7 年 8 月 2 1 日

(地独)青森県産業技術センター畜産研究所

「獣医臨床技術研修」報告

令和 7 年 7 月 1 5 日（火）～1 6 日（水）に畜産研究所和牛改良技術部、7 月 2 4 日（木）～2 5 日（金）に畜産研究所本所を会場として、獣医臨床技術研修が開催されました。本県の家畜保健衛生所では、現場での家畜繁殖などの臨床業務が減少傾向にあることから、特に経験の浅い若手職員のスキル向上を目的とした実地研修を実施しました。内容は、「人工授精」や「妊娠鑑定」などの実務に直結する技術習得を重視しています。研修には和牛改良技術部に 9 名、本所に 5 名の家畜保健衛生所職員やインターンシップ生が参加し、当研究所の専門職員を講師に、直腸検査や超音波画像診断装置の操作など、基本的な技術を習得しました。普段の業務の多くは、農家が所有する家畜（他者の財産）を対象としているため、技術の研鑽の場が限られていることもあり、受講生たちは皆、非常に意欲的に学ぶ姿勢を見せていました。

後日、受講者からは「繁殖に関する知識を深めることで、生産者とのコミュニケーションに役立つと感じた」や、「繁殖管理に関する知識や技能を実践的に学ぶことで、農家との対話においてより詳細かつ適切なやり取りができるようになったと実感した」といった感想が寄せられました。また、「直腸検査は見えない部分も多く、感覚の共有が難しいため、リアルタイムでの的確なアドバイスをもらえる環境が、技術向上に大いに役立った」との声もありました。これらの意見は、講師を務めた職員にとっても、改めてやりがいを感じる貴重なフィードバックとなったようです。



人工授精実習（和牛改良技術部）



エコー検査（和牛改良技術部）



モバイルエコーによる検査（本所）



屠場子宮を使った人工授精実習（本所）